

二十歳の誓い

幼い頃、祖父は私をバイクに乗せて京都市内の様々なところへ連れ出してくれました。嵐山の竹林、清水寺、近所の銭湯。祖父は人と喋るのが大好きでベビーカーに乗った赤ちゃんから杖をつくおじいさんまで目が合えば楽しそうに話しかける人でした。そんな祖父を隣で見て育った私も人と関わるのが大好きです。

中学の三者面談の時、私は普通科では伸ばすことの出来ない領域を学びたいと思い、新しく開校したばかりの京都工学院高校に行くことを決めました。人と関わるのが好きな私にとって高校でのグループワーク学習は楽しいもので、宇宙航空研究開発機構 JAXA と提携した課題解決型学習をする授業が特に面白かったです。JAXA が実際に抱えている課題に生徒がグループで取り組み、解決案を作り上げていく感覚がすごく楽しかったです。時に議論がなかなか進まなかったり、グループ内で考えていることが違ったりすることもあり、他の人と私とで考えるプロセスに違いがあることに気付きました。そこから、モノを作るときの発想のプロセスや仕組みについて学びたいと思ったのです。

大学生になった今、データサイエンスという分析のプロになる勉強をしています。また、小中高生に創造力を育む教育をしている企業でインターンもしています。モノづくりには闇雲に作るのと、作るための知識を持って作るのとでは完成品にもクオリティに大きな差が出てきます。私はこういった発想法のプロセスという知識に、大学で学んでいる分析の要素を交えた新しいモノづくりの考えかたを作りたいと思っています。

京都には伝統産業だけでなく任天堂のような世界で活躍する企業があります。最近では Apple や LINE のような IT 企業も京都にオフィスを置き、深くモノづくりに関わることのできる街です。いつか私はそんな京都でモノづくりに携わる人たちを支援して社会を明るくすることが私の夢です。

このことを私の二十歳の誓いとさせていただきます。

令和3年1月11日 新成人代表 原 健太